

授業改善書

科目名	異文化コミュニケーション
担当者	吉村貴之

授業の概要

現代の国際社会を考えるうえで、異文化接触や多民族共生の問題は重要である。本講座では、異文化コミュニケーション論の理論を学んだうえで、ユーラシアにあった前近代の世界帝国や近代の多民族国家の歴史を紐解きながら、様々な出自を持つ人々の共存のあり方を探る。

授業の問題点

この講座は専門科目でありながら、言語・コミュニケーション領域、史学・文化領域双方にまたがるばかりでなく、年度によっては他学科の受講生も出席するため、いずれの領域の学生にも関心をもってもらうよう配慮する必要がある点が難しい。

学生の授業満足度

年々満足度が上昇していることがアンケートからうかがえるが、さらに学生の興味を引き付けるような視聴覚教材を増やすつもりである。

授業改善の課題と方策

言語・コミュニケーション領域の学生向けに異文化コミュニケーションの理論の解説を増やし、こども発達学科の学生向けに異文化教育の問題なども講義に織り込み、大分定着してきた。

また、後半の事例研究は、講師が一方向的に話すことが多かったが、今年度は講義中に積極的に質問する学生がいたため、学生との対話が成り立ったものの、その分最後は駆け足の解説となった。今後は多少解説事項を減らしても、講義中に極力学生たちに質問を投げかけ、発言を引き出すようにしたい。

その他